



12月の図書館開館について

12月1日～12日 8時半～19時
13日～22日 8時半～16時半
(学校休校日は閉館)
12月23日～1月9日まで閉館します。

1月10日から開館
します。

「贈る」をテーマに本を展示！！

12月25日はクリスマスですね。家族や友だちとプレゼント交換をする人も多いのではないのでしょうか？今回は「贈る」をテーマに様々なジャンルから本を集めてみました。



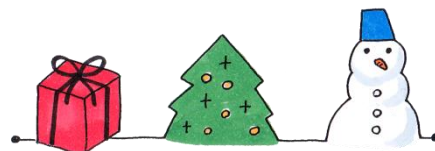
『きみに贈る本』 中央公論新社
中村文則・朝井リョウ・窪美澄・佐川光晴 他 著
『教団』の中村文則さん、『武道館』の朝井リョウさん、
167回直木賞を受賞した窪美澄さんなど、天高図書館

でも人気の作家6人が、「おすすめの本を教えてください。」と言われ、選んだ本です。それぞれの作家たちの原点となる本や、影響を受けた本が紹介されています。人柄が表出している選書にも興味がありますが、文章がどれも読みやすく、魅力的です。さすが、プロだと思わせます。



『おくりものはナンニモナイ』
パトリック・マクドネル 作・谷川俊太郎 訳

「なんでももってる ともだちを よろこばせるものって
なんだ？」 猫のムーチは犬のアールへの贈り物を考
えました。「ナンニモナイをあげよう！」 アールとムーチはただじっとしてナンニ
モナイを楽しみます。どこかに行くとか、何かを食べるとか、そんな事より2人で
いる。それが何よりの贈り物。大切なもの、かけがえのないものは、何かを思い
出させる絵本です。かわいいイラストもおすすめです。



『世界で一番の贈りもの』
マイケル モーパール 評論社



この物語は、第一次大戦中の1914年のクリスマスに前線各地で起こった実話に基づいています。過酷で厳しく、日々、心をすり減らして闘う戦場で、クリスマスの喜びを共に分かち合おうと休戦し、塹壕から這い出し、酒を飲み、食糧を分け合い、サッカーをして過ごしたという「奇跡の1日」がテーマになっています。骨董品屋で見つけた机の引き出しの奥に、隠すようにしまわれていた手紙をみつける所から、お話が始まります。この手紙の送り主はイギリス兵士。愛する妻へ、「奇跡の1日」の話を綴っています。クリスマスが近づくと、毎年、皆さんに紹介したくなる本です。連日、落ち着かないニュースが流れていますが、世界中の人々が、大切な人と笑顔で聖なる日を過ごしてほしいと祈らずにはいられません。

『大人かわいいラッピング』
主婦と生活社 みやおかひろえ 宮岡宏会

ラッピングを少し工夫するだけで、プレゼントが一層、素敵になるアイデアが満載です。どこにでもあるものを利用して、贈り物をかわいくしてください。



図書委員会主催による「読書会」開催！！

11月9日(水) 15時30から天高図書館で、「読書会」を開催しました。1年生図書委員と2年生文芸部員が参加してくれました。それぞれ自分の「推し本」を持ち寄って、1分間本の紹介をしようというものです。4人のグループに分かれて、ストップウォッチをもって、さあ、開始です。最初は、どのグループも緊張していましたが、その内、緊張もほぐれ、笑顔もみられ、とてもよい雰囲気です。会を終える事ができました。

参加者の感想を紹介します。「自分では、なかなか選ばない本が紹介されていて、今後の選書の参考になった。」「今まで話したことがない人と、本を通して知り合えてよかった。」「1分間って短いように思ったけど、けっこう長いのに驚いた。」

今後も、図書委員を中心に、天高生が図書館を積極的に活用し、「本が身近にある生活」が実践できるような企画を考えていきたいと思います。お手伝いいただいた図書部の先生方、参加して下さった天高生の皆さん、ありがとうございました。

「読書会」の様子



館内特別展示



らい ねん と し ょ か ん
来年も図書館で
会いましょう！

